

Tabula rasa



梅光学院大学

図書館サポーター 広報誌 第26号

はじめに

この度は本誌を手にとっていただき誠にありがとうございます。第26号では、2021年度の活動の一部を掲載しています。授業がオンラインから対面に戻ったものの、新型コロナウイルスの影響で学内・学外の活動に制限がかかる一年となりました。この冊子が、私たちの活動に興味を持っていただけるきっかけの一つになれば幸いです。

目次

・はじめに、目次	1
・図書館サポーターとは	2
・ライブラリアン 13 世	2
・ 2021 年度 活動紹介	
図サポのおすすめ本展覧会	3
ブルーライトアップ	4
オンライン ABD (アクティブブックダイアログ)	5
交流会	6
部内 ABD	7
本の福袋	7
・年間スケジュール	8
・4年生より	9
・あとがき	11

図書館サポーターとは

学生が図書館をフル活用するにはどうしたらよいかを学生目線で考え、図書館をよりよくしていこうと活動する梅光学院大学のボランティア団体です。POP やテーマに沿った本の貸し出しコーナー作成など、図書館に関わる様々なことに取り組んでいます。活動は年々変化し、新しいことに挑戦していくとともに、利用者一人一人が居心地の良い図書館だと感じていただけるよう日々努力しています。

理念

人と図書館を育てる

目標

図書館や大学の役に立つ

活動を通して成長を目指す

隣人を自分のように愛す(マルコによる福音書 12 章 31 節より)

ライちゃん

正式名称「ライブラリアン 13 世」。

梅光学院大学図書館公式キャラクターです。ライブラリアン星からやって来た、本が好き・本を読む人が好き・図書館が大好きな王様です。図書館で利用者を見守っています、探してみてください。



図書館サポーターの T シャツに
プリントされています。

図サポのおすすめ本展覧会

2021年度最初の活動は、おすすめ本のPOP作成となりました。例年、最初の活動では先生のオススメ本を紹介するPOPを展示していたのですが、クロスライトの各先生方の棚におすすめ本が置かれるようになったこともあり、今年度は図サポメンバーのおすすめ本を紹介することにしました。

また、司書さんの提案により、読んだことのない本の紹介として未読の新書のPOPも作成しました。読んだことのない本を紹介することもある、図書館司書の仕事体験も兼ねた活動となりました



これまでの「小さいサイズに沢山の文字」という図サポのPOPから、「大きいサイズに短い文」にリニューアル。以前より目に留まりやすく、見やすくしました。

展示の様子です



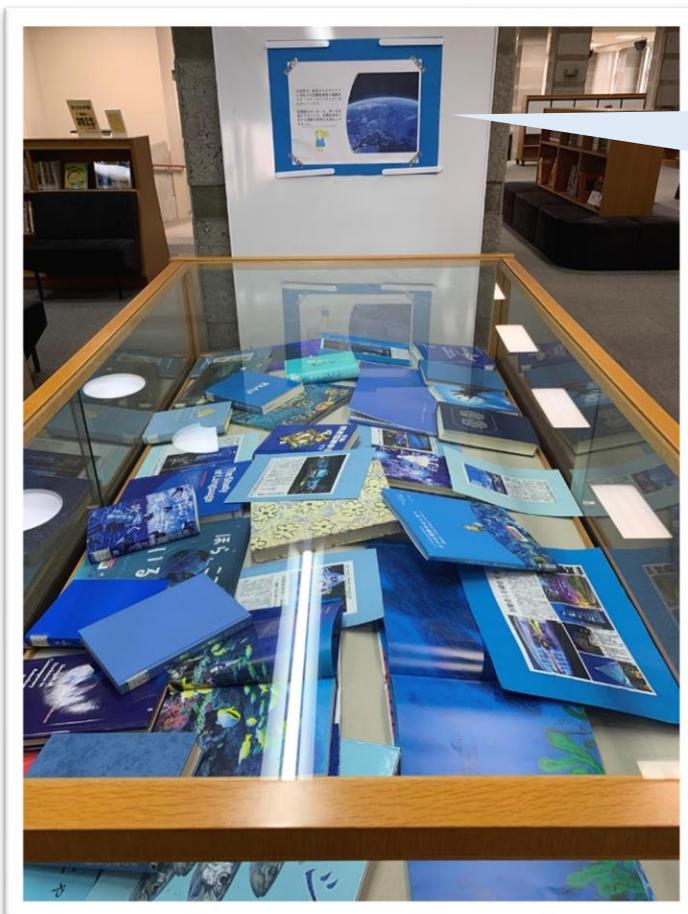
ブルーライトアップ



ブルーライトアップムーブメントが世界的に広まり、日本でもその活動が広まってきた頃、医療従事者の方への感謝を表すため、また、この活動を学生に知ってもらうため、図サポもブルーライトアップムーブメントに参加しました。

ブルーライトアップムーブメントとは、コロナウイルスの脅威と日々奮闘する医療従事者の方への感謝を表すため、青いライトアップをする活動です。

図書館ということで、青い本を使って展示コーナーを作成しました。



ブルーライトアップの説明も展示しています

本と一緒に全国のブルーライトアップについての新聞記事を置いています





オンライン ABD (アクティブブックダイアログ)

島根大学図書館コンシェルジュさんのお声がけにより、昨年に引き続きオンラインで ABD を行うことができました。

ABD(アクティブブックダイアログ)とは、1つの本を複数人で分担して読み、それぞれが内容を発表し合い、取り上げた1冊についてダイアログ(対話)を通して理解を共有していくかたちの読書会です。

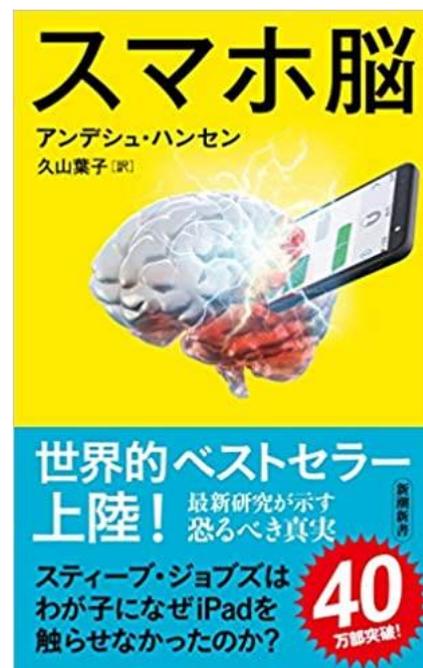
今回取り上げられた本は「スマホ脳」(アンデシュ・ハンセン)でした。今や生活に欠かせないものとなっているスマホが、使用者の脳にどのような影響をもたらしているのかについて書かれた本作を通して、参加者それぞれのスマホとの付き合い方などについての対話から、本作の主張に対して自分たちの考えを深めていきました。

オンラインということで、事前に接続テストが行われ、当日は通信環境を整えての参加となりました。

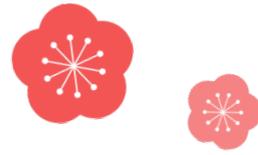
今回、図サポからは司書さんを含め5人が参加しました。



当日の画面の様子です
(プライバシー保護のため顔を隠しています)



交流会



山口県立大学の図書館盛り上げ隊 YPU LECさんとオンラインで活動内容を報告し合う交流会を実施しました。

今年度はコロナの影響により大学図書館学生協働交流シンポジウムの開催が中止になってしまいました。そんな中でも、なんとか大学図書館に関わる活動をしている学生同士の交流を行うべく開かれたのがこの交流会です。

山口県立大学図書館盛り上げ隊 YPU LECさんの活動には学ぶところが多く、他大学との交流の大切さを感じました。

質疑応答も盛んに行われ、この時勢、刺激を受けられる貴重な経験となりました。



梅光学院大学図書館サポーターからは4人が参加しました。

発表中の様子です





部内 ABD

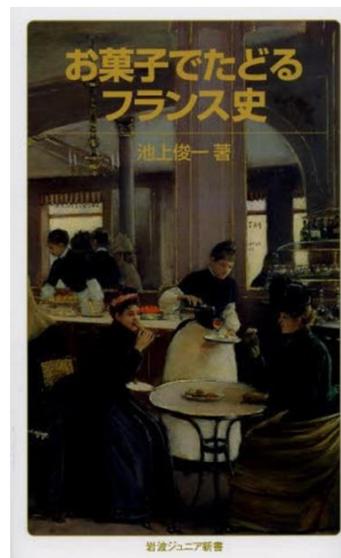
島根大学さんとの ABD を経て、部内でも ABD を実施しました。

今回取り上げたのは「お菓子でたどるフランス史」(池上俊一)という本でした。

今度は対面での実施となり、多くの部員が本来の形式に近い ABD を経験することができました。

ABD について興味を持たれた方は、こちらの公式 HP から詳細を確認できます。

(<https://www.abd-abd.com>)



本の福袋



「本の福袋」は、2018 年度に開催された第 8 回シンポジウムで他大学の団体が発表されたものです。それを自分たちでも企画したものを昨年度に引き続き実施しました。

本の福袋とは、テーマに沿った複数の本が入った福袋を貸し出すというものです。福袋に入っている状態で貸し出すため、利用者は中身が何か開けるまで分かりません。

この企画は、自分で本を選んでいると借りる本の内容や形態が偏りがちになり、他ジャンルの本と出会う機会が少なくなってしまう問題を解決するのにぴったりだと考え実施しました。

福袋の作成について：本のテーマを決め、それに沿った小説・詩集・絵本・図鑑・写真集などを数冊選びます。テーマを伝える POP を福袋に貼り付け、福袋の完成です。福袋に入れる本の貸出については、貸出用バーコードを印刷し福袋に付けることで、袋を開けずに貸出することができます。

昨年度はお正月に合わせての実施でしたので、今年度は複数冊読むのに適した春の長期休暇に合わせて実施しました。今年度も好評をいただくことができました。



～年間スケジュール～

4月 部活動勧誘

6月 おすすめ本展覧会

7月 ブルーライトアップ

9月 オンライン ABD

オンライン交流会

11月 部内 ABD

12月 クリスマスツリー飾りつけ

1月 本の福袋

クリスマスツリー飾りつけの写真



4年生からのメッセージ

文字が好きだから、という単純な理由で参加した活動でしたが、本の世界に触れていくうちに大きな収穫もありました。読むだけでなく目で見て楽しんだり、触って楽しんだり、新しい本の楽しみ方を知ることができました。また、未知の本のジャンルと出会う機会が多くあり、自身の「好き」がどんどん広がっていく感覚がとても面白かったです。ここでの経験は私の人生の宝物です。図書館サポーターの活動に関わってくださった方々に感謝申し上げます。

図書館サポーター 大下 智子

図書館サポーターに入部してから、本を通じた交流や新しい出会いなど様々なことを経験することができました。グループ活動では、本の福袋制作や一人ひとり愛読している本の紹介や魅力など沢山のことを得ることができたと思います。

図書館サポーターに関わる皆様 今までありがとうございました。

図書館サポーター 佐野 綾乃

図書館サポーターに入部し、専攻を問わず仲間ができたことが一番の思い出です。

また、1年次や3年次に仲間と一緒に話ながら作業でき、幸せでした。

さらに素敵な後輩にも恵まれ、自分にとって充実した大学生活となりました。

これからもたくさん本を読み、感性を磨いていきたいです。

本当にありがとうございました。

図書館サポーター 永松 果穂

1年生になった4月頃、本が好きで本に関わる活動がしたいと考え、図書館サポーターに入部しました。日頃の活動に加え、ルーキス祭での古本販売等を行い、その中で新型コロナウイルス感染拡大に伴い、オンラインでのシンポジウムも行いました。図書館サポーターに入部してから環境が目まぐるしく変わり、新たな試みを多く行いました。後半は新型コロナウイルスにより活動が対面でする事が難しくなり対面でする事が減りましたが、それも今振り返ると良い経験になったと感じています。

これまでの3年間の活動をこれから社会人になり、社会に出て働く中での糧にしていきたいと考えています。

これまでお世話になりました先生方、部員の皆さん、ありがとうございました。

図書館サポーター 畠中 美緒

図書館サポーターとしての活動は、今の私の原点に当たります。サポーターとしての活動は、学祭内での古本市の開催から、本のポップ制作まで多岐にわたりました。その活動の中で多くの友人、先輩、後輩と仲を深めることが出来、色々な考え方を学べる機会となりました。何より図書館サポーターのメンバーは、とても仲が良く、活動が楽しかったので、毎回図書館に行くのが楽しみでした。メンバー、富田先生と活動することが出来たのは私の学生生活での宝物です。ありがとうございました！！

図書館サポーター 会計 盛重 瑠璃佳

個性豊かな部員と、生徒に寄り添って共に活動して下さった元図書館館長と過ごしたこの3年間はとても楽しくかけがえないものとなりました。また、人生で初めて部長という役割を経験した1年間は楽しさも反省も、学ぶことの多い時間となりました。1年間ついてきてくれたみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

図書館サポーター 部長 高橋 のあ

あとがき

部長になった時には、昨年に引き続き新型コロナウイルスが流行する中で、他校との交流は厳しい1年になると感じていました。実際、大学図書館学生協働交流シンポジウム参加や大学祭出店の機会は失われてしまいましたが、オンラインに形を変えて他大学様との交流が実現したことを嬉しく思います。また、学内活動では新たな取り組みを実施でき、充実した1年間にできたのではないかと思います。後輩のみなさんが活動していくうえで、この1年の経験が糧となることを願っています。最後になりますが、図書館サポーターの活動を見守り支えてくださる方々に心から感謝申し上げます。これからも図書館サポーターの活動を見守っていただければ幸いです。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。



梅光学院大学図書館サポーター広報誌「Tabula rasa」第26号

発行日：2023年3月31日

発行：梅光学院大学図書館サポーター

編集：梅光学院大学図書館サポーター